

【産業情報学科 情報科学専攻】

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

筑波技術大学の教育理念に沿って開設された教養教育系科目および専門教育系科目を履修して所定の単位を修得し、幅広く豊かな教養と、以下に示す情報科学に関する知識と技術を身に付けた者に学位を授与します。

- ① 情報科学分野に関係する基礎的な知識や技能。
- ② 専門知識を用い問題解決の過程において必要とされる調査・理解・対応能力。
- ③ 他者との意思疎通や共同作業を行う際に必要とされるコミュニケーション力。

これらの能力に対する修得の認定は、データ処理、ソフトウェアシステム、ハードウェアの分野において、以下の内容により評価します。

- ① 現状を分析し、問題点を明らかにする。
- ② 自分の意見をわかりやすく伝える。
- ③ 目的を設定し、行動する。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

情報科学専攻では、情報処理技術を通して社会に参画・貢献できる専門職業人を養成します。新しい技術に対応するとともに、自ら学ぶ目的を常に意識できるようにするため各年次に専門教育科目を配置し、3つの分野（データ処理、ソフトウェアシステム、ハードウェア）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

・1年次

情報科学全般を網羅的に学びながら、データ処理、ソフトウェア、ハードウェアをベースにした演習・実験を通し、4年間の学習の具体的な全体像が形成できるようにします。

・2年次

情報科学全般で必要と思われる基礎的な内容の講義・実験等を必修科目として、また、各モデルで必要とされる基礎知識を選択科目として、専門知識習得に必要な基礎を育成します。

・3年次

自らの目指す将来像を元に各モデルの講義・演習・実験を通してより具体的な知識、技術の獲得を目指します。また、セミナーやプロジェクト形式の授業やキャリア教育から学生自らが積極的に問題を解決できる応用力を育成します。

・4年次

特別研究において、担当教員とテーマ設定や計画・立案をともに議論し、問題解決、評価までの過程を1年を通じて体験することで総合力を育成します。

学習成果は、基本的な知識の習得状況に加え、それぞれの課題における思考過程および成果物から思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。また、少人数教育の強みを活かした双方向のアクティブラーニングによる演習によって、問題解決のための応用力、プレゼンテーション能力、論理的な説明能力の向上に重点をおいた教育を実施します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

情報科学専攻はソフトウェア技術やハードウェア技術などコンピュータに関連した分野を学ぶ教育課程であり、次のような人を求めています。

- ・大学での学習に必要な基礎学力を有していると共に新しい知識・技術に挑戦する意欲を持っている人。
- ・コンピュータに関連した知識・技術に興味を持ち、積極的に学習に取り組む意欲を持っている人。
- ・情報処理技術を通して、住み良いユニバーサル社会の実現に意欲を持っている人。